

育児期女性のライフスタイルと育児支援

看護学科

伊草 綾香 助教

【研究分野】 公衆衛生看護学、地域看護学
【キーワード】 育児支援、乳幼児、育児リカバリー経験
【URL】 <https://researchmap.jp/70911056igusa-ayaka>



研究概要

近年、日本の出生数は減少傾向であり、生み育てる選択をした女性の支援は、社会全体にとっても重要であるといえます。一方で、女性の社会進出や育児経験の乏しさより、育児は多くの母親にとって大きな課題となっています。母親は理想と現実とのギャップから、ストレスや不安、育児困難感といった、育児に対するネガティブな感情を持つことが多く、それは母親のメンタルヘルスだけでなく子どもの心身の発達や児童虐待の促進につながるものが明らかになっています。現行でも育児支援に関する施策は展開されていますが、児童虐待や育児ストレスを抱える母親の数は依然として増加傾向にあります。子育て世代の保護者のニーズに沿った支援や、大変なことがあっても「もう一度育児を頑張ってみよう」と思えるための施策の一助となるような研究をすすめています。

研究紹介

子どもの成長・発達の促進や子育て支援、育児期にある女性のライフスタイルに対する課題に取り組んでいます。現在取り組んでいるメインのテーマは「第1子乳児をもつ母親の育児リカバリー経験尺度の開発」です。

講座テーマ紹介

1. 乳幼児期のお子さんを育てている保護者を対象とした講座
子どもの発育と発達を理解することで、子育ての悩みや不安が軽くなることがあります。睡眠や食事等の子どもの生活習慣を整えることは特に重要です。一方、現代では、共働き家庭が増加し、子育ては両親ともに役割分担をしながら一緒に子育てすることが重要です。お父さんを対象とした子育て講座も充実させていきたいです。
2. 子育て支援に携わっている方を対象とした講座
地域で子育て支援に携わっている民生委員、子育てボランティアの方を対象に、地域での子育てについて考える講座の開催も充実させていきたいです。

アピールポイントなど

自治体において、保護者を対象とした家庭教育学級の講師や、子どもに多い感染症についての講義、子育て広場における保健の講義を行っています。また著書では養護教諭向け、子どもに多い感染症について執筆しました。地域全体で子育てを支えるしくみづくりに貢献していきたいと思います。